

令和4年1月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

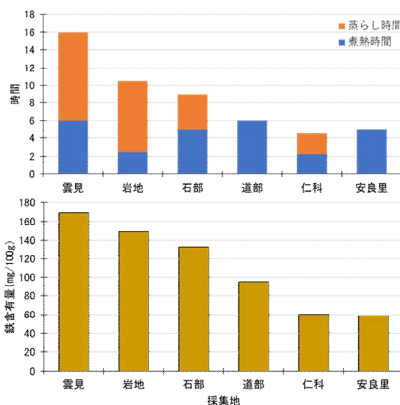
令和3年度水産・海洋研究発表会—研究成果をYouTubeで公開中！

水産・海洋技術研究所は、研究の成果を県民の皆様幅広く知っていただくため、毎年「水産・海洋研究発表会」を開催しています。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からwebにて開催することになり、12月13日から1月14日まで、静岡県庁公式YouTubeにて発表動画を公開しています。

当場の発表内容は「西伊豆産ひじきを生み出す伝統製法～鉄分豊富なひじきを作る秘密～」です。西伊豆地域では、生産者自らヒジキを鉄釜で煮熟、天日干しして「干しひじき」を製造します。ひじきには鉄分が豊富に含まれることが知られていますが、西伊豆産ひじきの鉄分は標準（58.2mg/100g）の約2倍と大変高く、その秘密は西伊豆伝統の「蒸らし」製法にありました。発表ではこれについてわかりやすく紹介していますので、ぜひご視聴ください。



←YouTube サムネイル
(静岡県水産・海洋技術研究所または伊豆分場のHPのリンクから発表動画にアクセスできます)



←西伊豆産ひじきの煮熟+蒸らし時間(上)と鉄分(下)の比較

▼
煮熟+蒸らし時間が長いほど鉄分が多い傾向

いとう地区のキンメダイ食害対策

近年、針にかかったキンメダイがサメ等の食害生物に食べられてしまう「食害」が深刻化しており、大きな問題となっています。伊東・熱海地区の漁業者で組織する伊豆東部一本釣協議会では、食害生物を音や振動で追い払うための花火(煙火)の導入を検討していますが、煙火を使用するためには講習を受講する必要があります。そこで、県の水産イノベーション対策支援推進事業を活用し、10月25日に講師を伊東市に招き、講習を受講しました。そして、食害が頻繁化した12月12日に煙火を使用したところ、一定の効果がみられました。今後は、安全で効果的な使用方法を検討していく予定です。



↑煙火

←講習会

須崎青年部の磯焼け対策

下田市須崎地区の若手漁業者の集まりである須崎青年部は、海藻類が消失する「磯焼け」の深刻化を懸念しています。そこで、12月15日に青年部が磯焼け対策として当场が採苗したアカモクの種苗を須崎漁港内に設置しました。順調に生長し、少しでもアカモクの藻場が形成されることを願います。須崎青年部はこの他にも、11～12月にかけて成熟したカジメの母藻の投入を行っており、磯焼け対策の積極的な取組を行っています。



↑アカモク種苗設置中

↑アカモク種苗

1月の予定 ● テングサ潜水調査 ● キンメダイ資源評価担当者会議 (13日) ● 相模湾漁海況研究協議会 (13～14日) ● 県漁業士会役員会 ● 伊東青年会議所講演会 (20日) ● 漁青連総会講演 (21日) ● 賀茂地区漁青連役員会 (17日)

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。